

健全育成シリーズ (225)
「心をかける子育てを！」



今の日本社会では少子化に伴い子どもを大切に育てる風潮がある反面、乳幼児期の虐待や信じがたい子どもの犯罪事件などもあり、育児をめぐる価値観の多様化に大人がとまどっている時代であると言えるでしょう。そこで、子育てのポイントとして、手をかけ過ぎずに心をかける子育てについて一緒に考えていきたいと思います。

子どもが何かにつまづいて乗り越えようとしているときに、親が簡単に手を出してしまったり、子どもに試行錯誤をする楽しさや成就感、成功体験、問題への応用力など、子ども本来の自立する力を奪ってしまうのです。しかし、手をかけ過ぎるなどといっても、心の愛情はたっぷり注いでほしいと思います。子どもにとって安心を与えてくれる安全基地としての家族、家庭が大切な役割を担っていることはいうまでもありません。具体例を3点挙げます。

○家庭内の役割をつくりましょう
子どもにとって、家族の中での居場所があること、家庭生活で果たすべき役割

があることはとても重要です。新聞を取ってくるとか、おつかいに行くとか、最初は簡単なことができることから始め、子どもの意欲・関心や年齢に応じて家族の一員としての役割を与えましょう。そうすることで、日々の家庭生活の中で自分が参加し、任されている場面があることが役割認識力を育てることになります。

○しっかりほめましょう

子どもとはいえども社会の一員であり、必要なルールを理解させ、学ばせることは親や大人の責任であるといえます。近所の方々に挨拶したり、困っている人を助けてあげたりするなど子どものよい行為は進んで認め、ほめてほしいと思います。親だけでなく、よその人からほめられる体験は、今の子どもには少ないように思います。それは、思いもかけぬ感動的な体験になるかもしれません。こうした社会から認められ、励まされる体験を積んでいくことが大切です。

○きちんと叱りましょう

ほめてばかりでは、子どもは育ちません。いけないことをしたとき、ルールを守れなかったときは、よその子であつてもきちんと叱るべきだと思います。子どもは、こういう理由で叱られたという体験が無駄にならないはず。勇気をもつて、子どもにはきちんと叱る大人になりたいものです。

このように親だけでなく、我々大人や地域社会で心をかける子育てを実践していきましょう。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

看護師等再就職相談

結婚、出産、育児、介護などによって職場を離れた看護師などの皆さま、今はどうしていますか。あなたの再就業が期待されています。

看護師などの仕事は、医療の進歩や介護需要の増大などにより、就職が厳しい昨今であっても、高い求人率です。離職してからの期間が空いていることにより不安を抱いている方には、病院における最新の看護業務の習得と職場復帰をサポートするための実務研修に参加していただく機会もあります。

また、県内の求人情報も提供していますので、自分に合った職場を選ぶことができます。

これまでの経験を生かして再チャレンジしてください。保健所では再就業のための相談窓口を開いています。

対象

保健師、助産師、看護師、准看護師の免許所有者

その他 個人情報厳守します。

問合先 健康支援課

☎0555(24)9034

不正大麻・けしの撲滅について

アサは、昔から丈夫な繊維(茎)とされる植物として栽培・利用されてきましたが、その花や葉(大麻)には幻覚などを引き起こす成分を含んでおり、これらの成分の乱用によって身を滅ぼすことにもなりかねません。このため、法律で無許可の栽培や所持などは禁止されています。

けしについても、春から夏にかけて色あざやかで美しい大きな花を咲かせ、観賞用の植物として人気があります。しかし、けしの仲間には、麻薬成分を含んでいるものもあり、法律で栽培は禁止されているものがあります。

大麻やけしの撲滅を目的として、5月1日(土)から6月30日(水)までの2カ月間、不正大麻・けし撲滅運動を実施します。一般的に見分けが困難なものもあるため、県のホームページに写真掲載していますので参考にしてください。また、不正栽培や自生している大麻・けしを発見した場合は、すみやかに、保健所または警察署へ連絡してください。

問合先 衛生課

☎0555(24)9033